

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	5			シート作成者		-	-	
事務事業名	予算編成事務			事務区分	自治事務	部課かい名	財務部 財政課	
事業の目的	効率的な予算配分を行う。			事業の目標		市債、財政調整基金に出来る限り頼らず、市民の求める事業に対して重点的に財源を配分する。		
事業の概要	各部局で事業の優先順位を定めるとともに、役割を終えた事業のスクラップを積極的に検討し、ニーズの高い事業に重点的に財源を配分する。							
対象	組織・市民			事業の性質区分		定例・定型	業務計画	■
指標	当初予算の上程時期							
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)		
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第1回定例会	第1回定例会	第1回定例会		第1回定例会		第1回定例会		
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください		
事業費	実施計画事業費	-	99,000	81,000	73,000			
	予算額	99,000	99,000					
	決算額	48,450						
	執行率	48.9%						
	従事者数	2	2.25					
	職員	2	2.25					
財源内訳	臨時・非常勤等							
	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	48,450	99,000					

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
予算編成は、業務計画実行の裏付けとなる財政計画であり、基本構想、実施計画等の実現を図るために毎年度必要とされる業務である。また、限られた財源の中で、計画の実現を図るためには予算の適切な配分が必要であり、効率的な予算配分を行うことが求められる。予算編成事務に従事する従事者数は27年度は2.00人、28年度は2.25人と、当課において多くの工数を必要としており、課における中心的な業務であることから、より効率的に事業を実行していく必要がある。	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	8月から予算の概算要求を開始し、10月から1月にかけて第1次経費の調整及び第2次経費の査定・調整を行った。また9月には、予算編成方針説明会を開催し、本市の財政状況の実情を周知するとともに各課かいに対し、協力と理解を図った。28年度予算を編成し、第一回定例会に上程できたことから、目標は達成することができたといえる。今後はより効率的に目標達成を図るための方策を検討することが必要である。
事務効率	厳しい財政状況の中で予算を編成するため、予算編成の早期着手として第二次経費においては概算要求を行うとともに、第一次経費については各部局に配分した一般財源枠内に治めた後一件査定を行い、予算編成の効率化を図った。しかし、27年度は、第3次実施計画と並行して予算編成を行ったことから、予算編成過程において、スケジュールに変更が生じた。
事業成果及び事務効率に対する評価	
成果があがっているが、実施手法は効率的でない	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	(1) 厳しい財政状況の中、実施計画の実現を目指した予算を編成するために、効率的に予算編成事務をすすめる。 ① 予算要求前に、各部に対し財政状況の厳しい実情を周知するとともに、事業コストの縮減、事業実施時期の見直しなど、各課かいへ29年度予算編成に向けた早期の協力を依頼する。 ② 予算要求前に各課と事業内容についてヒアリングを行い、早期より現状を把握し、29年度予算編成に取り組む。 (2) 予算事務を効率化する。 27年度の補正予算の一般会計の議案数は第15号に達した。一般会計の補正予算要求に対する事務の縮減を図るため、最低限の補正予算要求となるよう、各課における予算管理の徹底を図る。

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]